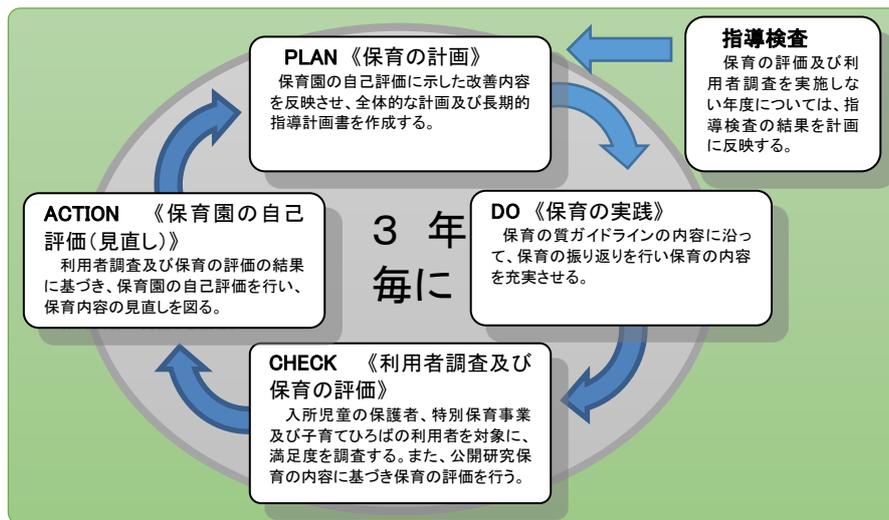


令和4年度
八王子市立保育園（公設公営園）
保育所の自己評価

国は、平成29年（2017年）3月31日に公示された新保育所保育指針の中で、「保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。」と明記しています。また、八王子市は、平成30年12月に、公立保育園が八王子市の保育における中核的な役割を果たしていくため、「八王子市（公設公営園）保育の質ガイドライン」を策定しました。

保育園が、保育施設としてその運営や保育内容等について保護者の皆様や地域の皆様に説明することは、保育所の重要な責務です。このことを踏まえ、公立保育園では保育の質の向上を図るために、利用者調査、公開研究保育とともに保育所の自己評価を実施しました。

今後は、評価の結果を踏まえ当該保育所において保育内容等の改善を図るとともに、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより強固なものとなるようにしてまいります。



評価責任者

八王子市子ども家庭部子どもの教育・保育推進課
長房中央保育園
施設長 大林 恵里子

令和4年度（2022年度） 保育所の自己評価 評価結果

評価項目	評価結果	評価結果・具体的事例および改善方法
<p>保育の方針 1</p> <p>子どもが人格を形成していく上で、自己肯定感を持てるようにすることが大切である。職員は、子どものあるがままを受け止め、自分の意思を自由に表現できるように保育の中で援助していく。</p>	82%	<p>ゆったりとした雰囲気の中、穏やかな口調で声掛けを行い、安心して自分を出せる環境づくりを心掛け実践している。子どもたちが自己決定できるよう、こどもの気持ちに寄り添うと共に選択肢が多く持てる環境設定を心掛けている。</p> <p>こどもの課題意識、知的好奇心の高揚を意識した環境設定については、これからの課題である。</p>
<p>保育の方針 2</p> <p>子どもが保育園生活をおくる上で必要なルールを知らせるとともに、人にはそれぞれ違いがあり、その違いを認め合うことを伝えていく。</p>	83%	<p>援助する時には、必ず子どもたちに了解を得てから援助するなど個々を大事に保育している。園生活のルールなど都度でいねいに伝えてきているが、トラブルの時など保育士がもう一歩待ち、子どもたち同士で解決できるような保育を心掛けたい。異年齢交流については、今後、もう少し広げていきたい、課題である。</p>
<p>保育の方針 3</p> <p>人の成長には豊かな経験が必要であり、特に乳幼児期においてはそれが実体験でなくてはならない。人的・物的な環境を整え、自然に集団となつてあそぶ中で様々な体験ができるようにしていく。</p>	82%	<p>こどもの気持ちに寄り添い、遊びが満足するまで行えるよう時間を十分に取ったり、違う活動のあと続きができるような環境設定をしている。横の繋がりを強化し、更に満足できる環境づくりを行いたい。</p> <p>クラスの枠を取り払い、多様な体験ができる環境設定をしていくことが課題である。</p>
<p>食育</p> <p>食事は子どもの身体的成長の基本であり、心豊かに食を楽しみながら自然の恵みに感謝し、子どもの命を守る大切な事項である。年齢にあった調理方法や栄養のバランスはもとより、食習慣の確立・栄養教育・心の健康づくりという目的に応じて一人ひとりの子どもに配慮する。</p>	89%	<p>個々に合わせ、苦手な物を減らしたり、量を減らすなどすることで、食事への楽しさや満足感が得られるよう保育している。</p> <p>栄養士や調理員がラウンドしたり、食材の媒体を用意することで食への意欲が上がっている。</p> <p>アレルギー児の「アレルギーチェック」については、何重にもチェック体制を作り、誤食がないよう配慮している。</p>
<p>子育て支援</p> <p>子どもの健やかな育ちを保障するため、家庭との連携を深めるとともに、在園児保護者及び在宅の子育て家庭における養育力が向上するよう援助していく。</p>	77%	<p>子どもたちの成長や日々の様子を、園だよりやクラスだより、写真入りの活動報告などでいねいに伝えてきた。また、懇談会や個人面談の機会を設け、保護者とのコミュニケーションを図るようにしている。保護者からの苦情・質問などに対しては傾聴し、素早くいねいに対応するようにしている。</p> <p>ひろばの利用者も少しずつ増えており、在宅子育て家庭への支援も広がっている。</p>
<p>職員の資質向上</p> <p>保育者に求められる専門性や倫理観を高めるため、保育の質の確保に向けた取り組みを組織的に行う。</p>	75%	<p>積極的に外部への研修に参加し、内容を全職員に共有するようにしている。</p> <p>園内研修があまりできなかったことが課題である。積極的に行えるよう内容や時間について考えていきたい。</p>
<p>安全管理と災害への備え</p> <p>日々、子どもたちの健康に留意するとともに、災害や事故に対する準備と心構えを持ち、それに係る訓練などを欠かさずに、子どもの安心・安全を守る。</p>	86%	<p>危険箇所についての報告・対処を素早くすること、ヒヤリハットの報告と周知をすることで安全対策を行ってきた。看護師による「手洗い指導」などを行い、子どもたちの健康への関心度が高まるようにしている。</p> <p>災害時の持ち出し品など、リストにし、誰でも分かる場所に吊るすことで、間違えず、持ち出すことができている。</p> <p>個人情報については、鍵のかかる書庫に保管している。また、保育士同士の話しの中から個人情報が漏れることがないよう細心の注意を払うようにしている。</p>